

### 東海第二原発いらない！ 東葛デモ 第3弾

- ◇日時：2025年6月7日（土）14:00～
- ◇集合：松戸西口公園（ここから、約2キロの松戸駅周辺デモを行います）
- ◇内容：2023年9月から始めた「東海第二原発いらない！東葛デモ」。一昨年は柏市街で、昨年は我孫子市手賀沼で、今年の第3弾は松戸市街となります。千葉県東葛地域（6市）合同の脱原発集会です。
- ◇主催：東海第二原発いらない！東葛アクション
- ◇問合せ：sinaisasenai.kasiwa@gmail.com

### しろい・九条の会総会直前 映画上映会 『拝啓 住民投票さま～石垣島のまんなかで起きたこと』

- ◇日時：2025年6月22日（日）9:15～
- ◇会場：白井駅前センター
- ◇内容：石垣では住民投票が行えるはずでした。石垣島の2015年から急変した島の様子を伝える映画を観ながら、石垣島の住民投票運動の経過をお話します。また石垣島で今進行している「台湾有事」に向けた政府の軍事基地化の実態のお話もします。そして、みなさんで考えましょう。自分の住んでいるところとのつながり。わたしたちにできること。石垣島から、今の日本、私たちの地域を見つめなおせればと思います。

上映終了後、総会を開催いたします（10時頃の予定）

### 世話人会報告（2025/4/8）

・主に20周年記念行事、会報、全体集会などについて話し合いました。

今後の予定  
 全体集会 6月22日（日）10時～ 白井駅前センター  
 記念行事 7月6日（日）1時30分～ 白井文化会館中ホール  
 記念行事は2部制で、第1部に平和アニメ、第2部に楽しいイベントを予定。  
 万障お繰り合わせの上ご参集ください。



九条の会  
 オフィシャルサイト  
<http://www.9-jo.jp>



日本を「戦争する国」にさせない！

# しろい・九条の会

《代表》影山廣輔 090-8848-3200

会報

No.229

2025年5月  
発行：事務局



しろい・九条の会  
QRコード

## 日本国憲法 第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2 前項の目的を達するため、陸海空その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



憲法紙芝居動画  
QRコード

美しいカラー版はホームページをご覧ください。



## 5月3日 憲法記念日

### 各地で平和を願う人々が集う

◇今年の憲法記念日も、各地で憲法と平和を考える集会が各地で催されました。今回は有明の集会に参加された、二人の会員のレポートを紹介させていただきます。

『戦後80周年を迎えた憲法集会に参加して』

嶋田昇二（白井市富塚）

2025年5月3日、地元しろい年金者組合の大石支部長をはじめとする仲間と同行して、憲法記念日に会場となった有明防災公園に向かいました。12時近くに会場に着き、まず、腹ごしらえに会場の中の木陰を利用して昼食をとりました。

集会は13時に開始（画像参照）され、主催者代表の開会の挨拶に続き、各野党代表からの訴えがありました。長年、中央の憲法集会に参加してきましたが、野党代表がそろって女性群で占められることは、まさにジェンダー平等を実現するための決意を示した姿と受け止められます。



2015年に強行採決された安保法制の新たな動きの中で、市民連合の佐藤学代表（東京大学名誉教授）が、語った次の言葉「戦後80周年の記念の日、5月3日の憲法記念日に当たって、この80年の間に、戦争に加担しなかった国は、世界でほんの12か国、中でも先進国は日本のみ。日本が平和憲法を持っている意義を改めてかみしめたいー憲法前文の中の特に軍隊を持たないとする第九条の条文の役割の大きさをー」

集会の後は恒例となっているパレードがありましたが、ここ何年かはシニア層の仲間と歩調をそろえ、パレードには加わらず、佐藤代表の言葉を胸に刻んで帰途につきました。

(1ページからの続き)

『有明防災公園 憲法大集会参加 感想』

池川和子（白井市清水口）

5月3日、「2025憲法大集会」に参加しました。12時過ぎ国際展示場駅から新緑とさわやかな陽光の中、アピールする人波を分けるように会場へ。すでに多くの参加者が芝生を陣取る中、中ほどに腰を下ろしました。開会挨拶で菱山南帆子さんは、2015年の戦争法による戦争できる体制づくりから、今は「台湾有事」を口実に戦争する準備が進められ、世界では戦争の危機が進行していると語りました。メインスピーチで古賀茂明さんは、戦後、米国は素晴らしい国と思われてきたが、おかしな考えを持つのはトランプ大統領だけでなくおかしな考えが根強くあることに気づいた。憲法の本質は「世界の市民とつながり、世界の平和を守っていくこと」です。我が国は米国と中国の関係を問い直し、長距離ミサイルを中国に向けてのをやめ、対話することが日本国憲法の本質ですと訴えました。

喫緊の問題では日本学術会議の「特殊法人化」の国会審議が5月7～9日にあり、国会へ集まろう！と呼びかけがありました。学問の統制⇒思想統制⇒戦争？に恐れを感じました。

### 千葉県松戸市でも、毎年恒例「憲法記念日の集い」開催

今年の憲法記念日も松戸市民会館では、「今こそ守りぬこう！憲法9条 つらぬこう！非核・不戦の誓い」のスローガンのもと、松戸憲法記念日の集いが開催されました。第1部では、日本被団協の事務局長・児玉三智子さんがあいさつに立ち、第2部の講演会では、講師として東京新聞「本音のコラム」で知られる文芸評論家・斎藤美奈子さんが登壇しました。

## 憲法審査会Watchingーシリーズ ⑬

### 「お試し国民投票」にもご注意を

笹塚 齊藤昭夫

国会では、「トランプ関税」や高騰する物価対策、年金改革法案などが中心の課題となっており、その陰に隠れて、憲法審査会のニュースはあまり表に出てきていない。しかし、予算が衆議院を通過(3月4日)してからは、ほぼ定期的にかかれていく。

衆議院の審査会は、4月27日現在、5回開かれているが、第1回の審査会で、「『選挙困難事態』の立法事実」について、自由討論が行われた。国民投票にかけるなら、9条よりも、まずは、緊急事態対策のほうがいいのではないかと「お試し国民投票」の目玉とされている条項にかかわる内容である。既に、改憲党派による条文案まで発表されている。しかし、自由討論の議事録を読んでも、「そもそも『選挙困難事態』などというものは起こり得るのか」という最も基本的な立法事実の有無に関してさえ、意見のへだたりは大きく、発議どころの騒ぎではないことがわかる。

発議がすぐにはできない状況下にあるとはいえ、改憲党派の、改憲にかける執念は、生半可なものではない。油断することなく憲法審査会の動向を監視し、「改憲ありきではなく、憲法が、現実の政治や暮らしに生きるようにすべきだ」という声を大きく上げたいものである。

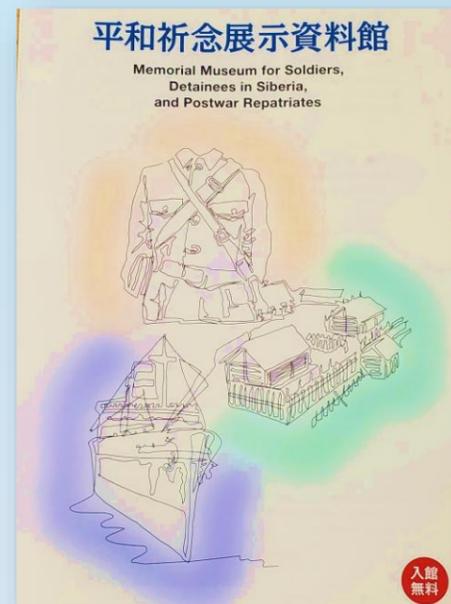


## 戦争と平和を考えるミュージアム紹介

# 帰還者たちの記憶ミュージアム

## 平和記念展示資料館 (総務省委託)

東京都庁都議会議事堂のすぐ隣、新宿住友ビルの33階にそのミュージアムがあります。ここでは、先の大戦における兵士、戦後強制抑留者および海外からの引揚者の労苦を物語る様々な資料、グラフィック、映像、ジオラマなどを展示しています。常設展示のほかに、企画展示コーナー、週替わりのビデオシアター、図書閲覧コーナーや語り部によるお話会の実施などもあり、さほど広くはないものの、充実した内容です。入館無料。



### ●所在地

東京都新宿区西新宿2-6-1

新宿住友ビル33階

都営大江戸線「都庁前駅」徒歩1分

東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」徒歩5分

JR線、小田急線、京王線「新宿駅」

西口より徒歩10分

### ●開館時間

9:30～17:30 (入館は17:00まで)

### ●休館日

月曜日

※祝日・振替休日の場合は翌日

※夏休み期間は除く

年末年始(12月28日～1月4日)

新宿住友ビル全館休館日

### ●お問い合わせ

Tel. 03-5323-8709 Fax. 03-5323-8714

<https://www.heiwakinen.go.jp>

